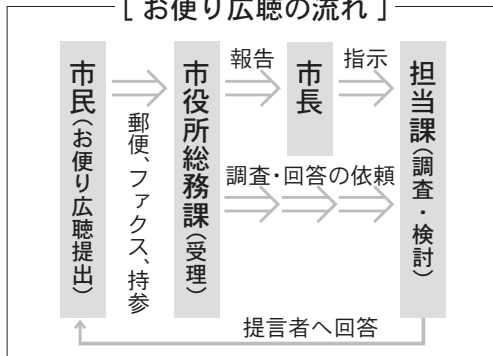


市民の声を市政に

お便り広聴(直通便)・まちづくり懇談会

〔お便り広聴の流れ〕



「お便り広聴」は 19年度も実施中

市は、市民の皆さんから市長あてにまちづくりの提案やアイデアを寄せてもらう「お便り広聴(直通便)」を本年度も実施しています。
提言用紙は、この広報とともに

市は、市民の皆さんと協働のまちづくりを進めようと「お便り広聴(直通便)」を本年度も実施しています。18年度には、まちづくりの主人公の声として、市民50人から86件の提言が寄せられました。ここでは、18年度に寄せられた提言と回答の一部を要約して紹介します。なお、お便り広聴の用紙は5月に配布しているほか、この広報とともに各世帯に1枚ずつ配布します。担当は市企画総務部総務課広報統計係(☎76-2111、内線1218)。

もに各世帯に1枚ずつ配布します。用紙には提言のほか住所、氏名、電話番号を記入してください。郵便、ファクス、総務課へ持参のいずれかの方法で受け付けます。提言は、市長が直接目を通し、担当課へ指示を出します。提言者には、総務課から提言受理通知を送付するほか、回答が必要な場合は担当課から回答します。

回答ができない 提言もあります

お便り広聴で提言のあった内容で、市が回答できない(しない)ものがあります。回答できない提言内容は次のとおりです。ただし、要望や意見、匿名のものは回答しませんが、市政運営の参考にします。
①特定の個人や団体などを誹謗中傷(ばいごうちゆうかう)するものや、プライ

- バシーに関するもの
- ②営利を目的としたもの
 - ③思想や宗教に関するもの
 - ④本来、市が回答するべきでないもの
 - ⑤個人・特定地域の要望、意見
 - ⑥匿名によるもの
 - ⑤と⑥は、市政運営の参考にします

市長との懇談会 3月まで受付中

市は、市民の皆さんからの意見や提言を、よりよいまちづくりに生かすため、まちづくり懇談会(市長と市民のチームトーク)の開催希望団体を募集しています。
本年度は、これまでに2団体が懇談会を開催し、田村正

声 幸せの黄色い旗 安否確認に一考

(松尾地区、男性)
テレビで「幸福の黄色い旗」という番組を見た。一人暮らしの老人が朝に黄色い旗を玄関に出し、夕方にしまい、旗のあるなしで安否確認をするものです。応分の負担が必要と思うが、一日に2度ほど巡回車が来てもらえると心強い。

答 一人暮らしの 老人が家の前に黄色い旗を掲げた場合、いくつかの問

題が考えられます。その中でも一番の問題は「一人暮らしの老人」であることを、公に知らせてしまう点です。近年、犯罪が多様化し、弱者を標的にした卑劣な事件・事故は地方でも発生しています。これが、事件・事故を助長することにな

彦市長と特定のテーマで意見を交わしました。この機会に、まちづくりについて市長と話し合ってみませんか。皆さんからたくさんの応募をお待ちしています。

■対象 市内で活動する団体やグループ(組織化されていないグループも可)。最小10人

■開催期間 20年3月まで

■午前10時から午後9時までの範囲内で、1開催2時間まで

■開催日時、場所 申込団体と協議して決定します。

■申し込み方法 希望団体は、市企画総務部総務課、各総合支所地域振興課、柏台出張所、田山支所にある申込用紙に必要事項を記入して、開催希望日の1カ月前までに、用紙配布窓口に提出してください。

声 不法投棄許すな
広報紙で啓発を
(松尾地区、男性)

ごみステーション(ごみ集積所)には、テレビや冷蔵庫などの不法投棄が目立ちます。いわゆる「家電リサイクル法」で再利用が義務づけられているものですが、不法投棄をしているのは、地域の人ばかりでなく、他の市町村から捨てに来ている人もいるのではないのでしょうか。広報紙などで啓発してはいいですか。

答 地区のごみ集積所などでは、市内全域でごみの不法投棄が確認されており、市でも防止施策に苦慮しているところです。モラルの向上や、地域ぐるみでの不法投棄の監視などが必要でないかと考えています。今回提言いただいた、広報紙を通じた啓発活動については、不法投棄の実態を再度調査した上で、実施していきたいと考えています。
(生活福祉部市民課)



安代地区の中学生が配達する「配食サービス」

れば、被害者が増大することになります。問題の解決ができない状況での実施は困難と考えます。
市は、一人暮らしの高齢者安全対策として、さまざまな事業を実施しています。例えば、定期的に食事を配送し、安否確認もする「配食サービス」、電話回線を利用した「緊急通報装置の設置」。ほかにも、「生活管理指導員派遣事業」や社会福祉協議会が行う「見守りネットワーク」などを実施し、安全対策を行っています。
(生活福祉部長寿社会課)

※市は、この提言を受けて、市内にある不法投棄について場所や数量を再度確認しました。6月末時点の調査では、市内10カ所以上で発見されました。最近の不法投棄は、産業廃棄物だけでなく、集積所で収集しないごみを捨てる事例が増えています。
市は、不法投棄の実態やごみの捨て方などを周知し、モラルの向上を図るため、広報はちまんたい8月2日号(No.44)で2ページを使い、不法投棄について掲載しました。



広報はちまんたい8月2日号(No.44)に、不法投棄について掲載しています

声 市営上坊牧野に
アウトドア施設
(西根地区、男性)

数年前、私有地でマウンテンバイクを乗り回す学生を、事故防止のため注意した経緯がある。今、身近に安心して楽しめるマウンテンバイクの無料コースはない。そこで、畜産振興で活用している市営上坊牧野の一部にマウンテンバイクのコースを設け、愛好者が安心して楽しめるようにしてどうか。冬には、スノーモービル場として開放すれば、一年間利用可能なアウトドアスポーツ施設になる。交通の便



畜産振興に活用されている上坊牧野

の良い本市には、たくさんの方が訪れるのではないかと。

答 現在、市内に無料開放しているマウンテンバイクコースはありません。マウンテンバイクには、坂道を下る「ダウンヒル」や、障害物を飛び越える「ヒルクライム」などの種目があり、危険が伴うスポーツの一つです。無料開放といえども、入場管理や施設管理を厳しくしなければ、安心して楽しむことはできません。市の美しい自然を生かしたスポーツ施設の設置については、愛好者や関連機関と情報交換をしながら、検討していきます。
(教育委員会生涯学習課)